

## 平成15年度活動及び事業報告

特定非営利活動法人『古川学人』が吉野作造記念館の管理運営を受託して2年が経過いたしました。古川市との有益なパートナーシップを構築しながら管理機能と企画運営機能の基礎づくりがようやく出来た状況です。これからが本番です。特に今年度は大崎地区の合併が予定されておりますので、NPO古川学人の自主運営の真価が問われる重要な年度になる事は必至です。

市民の財産である吉野博士の関連史料の保全は無論、民本主義の精神を継承する事を念頭において、記念館と市民との距離をより身近なものにしなければなりません。当施設が市民にとって有効かつ生活の一部になるような運営を目指す活動をしてまいります。今後も皆様のご意見を拝聴しながら記念館の発展を図りたいと考えております。

以下に平成15年度の活動について、事業関係・人事管理・事務管理・設備及び環境管理の項目に分けて報告します。

### 【実施事業】

平成15年度の事業につきましては、別紙報告の通りです。記念館の目的である吉野博士の功績をより多くの人に知って頂き「民本主義」の継承をすること、そして、博士に関連する貴重な文献、史料の適正管理を念頭に事業計画をたてました。

#### 1. 文化の発信基地としての構築を図る

吉野作造記念館が情報や文化の発信基地としての役割を果たすための研究や情報管理の向上を図ってまいりました。吉野講座やイベントを通じてより多くの人に吉野博士を知っていただき民本主義の意義を伝承する事業の取り組みを行いました。

#### 2. 古川市とのパートナーシップの構築

パートナーシップの根幹は、対等・相互の理解と尊重です。特定非営利活動法人古川学人が一つの目的を持った独立の組織体であることを認知して頂くことに傾注しました。また、職員に自立心と民間サービスを自覚させ更にスキルアップをするための研修会等を行いました。

#### 3. 資料の保存管理

保存方法の研究と管理方法の適正化に取り組みました。特に「史料にやさしく且つ自然環境にやさしい」の二点に重点をおいた運営を行いました。温度管理はもちろん湿度管理・防虫管理・安全管理の対策を強化取り組みました。

### 【人事管理】

#### 1. 職員研修

平成15年6月10日所要回数3回実施（研修プログラムNO1～NO4を作成）

#### 2. 職員の視察研修

視察研修を9月8・9日に実施しました。

### 【事務管理】

#### 1. 監査

H. 15. 5. 5日、内部監査を実施しました。

H. 15. 6. 6日、古川市の監査が行われました。

H. 15. 10. 28日、中間監査が行われました。

#### 2. 金庫購入

現在の貴重品や現金の保管管理について、容易に開錠できる状態であり法人としての管理責任上購入をしました。記念館に帰属するものであり、3月25日に古川市へ寄贈しました。

## 【設備及び環境管理】

### 1. 空調設備の点検検査

①平成15年9月25日～26日に点検検査を行いました。従来は定期点検が行われていませんでしたので、全ての機器において、長期の使用が原因と見られる劣化や汚れが報告されました。それにとともに空調機と全熱交換機の全面改修工事を行う様に古川市へ申請いたしました。これにつきまして「必要性は十分認識しているが予算の関係で検討している」とのことで実施に到っておりません。引き続き折衝をしております。

②平成15年11月26日に空調の修理を行いました。(館長室)

③平成16年1月8・9・16日に空調の修理を行いました。(館長室)

### 2. 常設展示室のスライドの交換

開館してから約8年を経過しており、スライドの劣化が進んで、画像がはっきりしない状態になった。耐用年数も超過しており交換を行いました。

### 3. 自動ドアの交換

正面玄関の木製ドア2つの内、外側のドアを強化ガラスのドアに交換しました。従来の木製ドアは歪みがひどく黒く汚れが目立ち修復不能となり、新しく交換を致しました。

## 【その他】

1. 平成16年1月13日館長室のソファの修理を行いました。
2. 平成16年1月15日研修室の音響修理を行いました。
3. 研修室のスポットライトの新規購入を致しました。
4. 平成1月7日に講座室の照明取付工事を行いました。

平成15年度 事業報告総括表 (詳細は本年度報告書にて)

※ は開催済み事業

平成16年3月31日現在

名称	会計額	一般より配分 コーナー代	決算計	実施時期	実質 人数	事業報告 No	実施報告
1 企画展 「憧れのヨーロッパ」	398,545	0	398,545	10/11～12/13	780	一-1	吉野が留学時代に書いた近代ヨーロッパ社会の様相を吉野の視点から照らし出すと同時に、吉野の思想に与えた影響を探る。
2 吉野作造賞 受賞者講演会	571,600	0	571,600	11/8,12/20	122	一-2	本年度受賞者である中西篤氏と竹森俊平氏を講師に迎え講演会を行う。中西氏は「日本外交と世界政治」、竹森氏は「日本経済の諸問題」をテーマに講演。入場無料。
3 年報・研究紀要の発行	469,400	0	469,400	H16.5/1 発行予定	-	一-3	平成16年5月1日発行予定。記念館の年間報告や吉野及びその時代状況に関する研究論文などを掲載。大正メモリアル・吉野作造研究発表の場として全国の研究者にアピールすることを目的とする。
4 総合雑誌の変遷と 吉野作造	-	-	-	-	-	-	-
※ 前年度の精算	3,885	0	3,885	-	-	-	-
(A)・・・合計	1,443,430	0	1,443,430	-	-	-	-

名称	会計額	一般より配分 コーナー代	決算計	実施時期	実質 人数	事業報告 No	実施報告
1 吉野作造資料収集	714,821	0	714,821	通年	-	-	吉野に関する資料収集(田澤主任研究員主管)
2 吉野作造講座 (館長講座含む)	43,032	19,590	62,622	8/3,8/16 9/6,9/20 10/4,10/25	43	二-2	「色々な視点から吉野作造を学ぶ」というテーマで実施。全6講座、講師は田中昌亮館長が務める。受講料は1000円(回数に関係なし、館内見学自由)。
3 吉野作造 全国ネットの構築	-	-	-	-	-	-	-
4 職員視察研修	99,568	0	99,568	A班6/23,24 B班9/8,9	-	二-4	2班で実施。A班はみやぎNPOクラブ、仙台市市民活動サポートセンター、斎藤吉記念館、東北芸術工科大学、米沢市上杉博物館を訪問し、主にNPOに関する知識の習得を目的とした。B班は致道博物館、土門拳記念館、秋田県立近代美術館、石坂洋次郎文学記念館を訪問し、より実践的な管理・運営方法を学ぶことを目的とした。
5 他団体との 交流事業	0	0	0	7/10	8	二-5	広報紙強化のために報道関係者と懇談会を開催。今後、社会・市民活動団体(青年会議所やNPO)、社会教育団体(PTA等)との開催を予定している。
6 学校や地域への 出張講座	-	-	-	-	-	-	-
(B)・・・合計	857,421	19,590	877,011	-	-	-	-

名称	会計額	一般より配分 コーナー代	決算計	実施時期	実質 人数	事業報告 No	実施報告
1 合併協住民代表の 話を聞く会	0	5,000	5,000	10/25	15	三-1	合併協議のあり方を住民の視点から問い直すことが目的。参加者数15人。
2 政治講演会	-	-	-	-	-	-	-
(C)・・・合計	0	5000	5000	-	-	-	-

名称	会計額	一般より配分 コーナー代	決算計	実施時期	実質 人数	事業報告 No	実施報告
1 吉野作造の 足跡を訪ねて	-	-	-	-	-	-	-
2 夕涼みイベント	161,961	0	161,961	8/2	225	四-2	入館料無料(すべてが対象)。初めての夜間開館を古川の火花大会に合わせて実施。記念館屋上を花火見物のために開放。研修室ではJAZZライブ、中庭壁面ではビデオ上映を行い、休憩ラウンジではアイスクリーム、ビール等を販売した。
3 近代化遺産ツアー2003	88,507	0	88,507	11/1	30	四-4	明治、大正時代の建造物を巡るツアー。古川市内では古川第一小学校、橋平酒店及び、富士東を見学。加美町では松本家住宅、藍字亭、田中酒造及び、加美町交流センターを見学。参加費はバス代、昼食代を含め1500円。後援：古川市教育委員会。
(D)・・・合計	250,468	0	250,468	-	-	-	-

名称	会計額	一般より配分 コーナー代	決算計	実施時期	実質 人数	事業報告 No	実施報告
1 吉野作造記念館だより (年2回発行)	590,670	0	590,670	11/1 4/1 発行	-	五-1	吉野に関する新資料の紹介や、記念館での事業などを紹介する一般向け情報紙。11月1日には第9号を発行。4月1日に第10号を発行。古川市内全戸配布。各3000部印刷。
2 宮城県内高等学校 入学進級祝無料招待企 画	19,910	1,500	21,410	4/1～7/末	40	五-2	宮城県内の全高校生(高等学校も含む)を対象とした無料招待企画。宮城を代表する偉人である吉野に興味を持ってもらうことを目的とする。 (参加校) ※参加校は一校のみ 尚綱学院女子高等学校 2年8組(生徒98名 引率2名 計40名)
3 2003年度 フォーラムツアー企画	221,643	0	221,643	5/3～5	1,733	五-7	期間中入館料無料(すべてが対象)。企画内容は「お絵かき大会」「アニメ上映会」「手作りおもちゃ作り」昭和の写真展、休憩ラウンジでは昨年好評だった田尻のジャージーアイスクリームを販売した。
4 広報への情報掲載及び 他団体へのPR資料発送	33,600	0	33,600	通年	-	-	広報活動強化のため、吉野作造記念館の情報を掲載する事業であった。実際に新聞・広告雑誌などに掲載し、記念館をPRするきっかけになった。
5 ホームページの 機能活用事業	0	0	0	通年	-	-	子供向けホームページの充実を図っている。クラスで吉野を知ってもらったり、博物館実習生が作成した紙芝居を紹介する。ページ毎に音楽を演奏する等の工夫で子供たちの興味を引き付ける。
6 春の特別イベント	58,934	0	58,934	4/15～5/5	1,960	五-6	企画内容は「昭和の写真展」(GWまで継続)「ビデオ上映会」。期間中回数に関係なく利用可能な「再入館券」を発行した。ビデオは桜の開花時期に合わせてものを上映。
7 自然あつたか体験 「吉野の森」	60,269	0	60,269	10/18	30	四-3	親子対象。講師はボランティアテラスTAE氏。記念館近辺の自然を探索し、作品作りを楽しむ。体験料は大人500円、中学生以下300円(材料費 入館料)
(E)・・・合計	985,026	1,500	986,526	-	-	-	-

名称	会計額	一般より配分 コーナー代	決算計	実施時期	実質 人数	事業報告 No	実施報告
1 サービス・保管 強化事業	147,410	0	147,410	通年	-	-	資料検索システム「情報館」を導入し、システムの構築中。
(F)・・・合計	147,410	0	147,410	-	-	-	-
(A)+(B)+(C)+(D)+(E)+(F)	3,683,755	26,090	3,709,845	-	-	-	-